

# 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と20年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	日東地区まちづくり調整事業	所管	まちづくり計画部中心市街地整備課
			Tel 2998-9366

事業目的 (何の為に 行うか)	当地区のまちづくり事業の前段となる各種の調査・検討を進め、まちづくりだよりを通して関係権利者に事業の予定や進捗状況を周知し協働のまちづくりを進めながら、実現可能なまちづくりの方向性について調整を行う。
-----------------------	--

事業の 具体的 な内容	計画 全体	市施行の土地区画整理事業を基本としたまちづくりの事業化検討を行うために、平成17年度に基本構想、平成18年度に現況・地区界測量、権利調査、パンフレット作成、平成19年度は事業計画(案)の作成並びにワークショップの実施に取り組んできた。平成20年度は、事業計画(案)の説明会並びに意向調査を行うなど、引き続き事業化の検討を進めて行く。
	平成 19 年度	市施行の土地区画整理事業(施行予定面積6.94ha)の事業化検討の一環として、事業計画(案)の作成、ワークショップを実施した。また、まちづくりだよりの発行により、関係権利者の理解を深めた。

事業の 推進状況	進捗率	～平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度
		50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	95.0	平成 24 年度
		見込まれる総事業費(千円)		34,100		事業開始からの累計額(千円)		19,845

H19 経費	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	6,374	6,195	34,377	101.4

成果 (結果として どうなったか)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	まちづくりだより	関係権利者数×発行回数	161×1 単位 人・回	161×1 単位 人・回	100.0 単位 %

今後の 方向性 (所管の 意見)	◎事業計画の見直しの必要性・・・ 有り * 無し ◎事業実施方法の見直しの必要性・・・ * 有り 無し
	◎総事業費見直しの必要性・・・ 有り ( 増額 減額 休止 終了 ) * 無し

今後の 方向性 (二次評 価の意 見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了	
	総合 評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了
	予算	現状どおり * 増額 減額 終了

# 平成 20 年度事務事業評価表(公共事業用)

事務事業名	担当		部課コード	060500	TEL	2998-9366			
事業コード 060503	日東地区まちづくり調整事業		まちづくり計画部中心市街地整備課						
開始年度 平成 17 年度 →		終了年度 平成 24 年度							
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 土地利用	<input type="checkbox"/> 土木建設	<input type="checkbox"/> 建築	<input checked="" type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 単独	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度			
① 概要	根拠法令	土地地区画整理法							
	分野別計画・指針	所沢市まちづくり基本方針、所沢市中心市街地活性化基本計画、所沢都市計画都市再開発の方針等							
	関連・類似事業	所沢駅西口地区まちづくり調整事業							
	総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	2節 市街地整備	中柱	1 市街地開発事業の推進	小柱	(6) 所沢駅周辺のまちづくりの推進
	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 34 位		実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○						
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
	コード	1131	計画段階からの市民参加の充実	コード	3261	事務事業見直しの推進			
	事業開始の背景	当地区は、所沢駅西口の至近の位置にありながら、老朽木造建築物が密集し、かつ多くの生活道路が未整備なため、防災、交通、並びに住環境等の面で多くの問題を抱えている。当初組合施行による地区全体の再開発事業を進めていたが、キータナント候補の撤退により事業が困難となったことから、平成16年度に地元権利者の要請を受け、市が土地地区画整理事業を基本としたまちづくりの検討を進めることとなった。							

② 内容	目的(何のために行うのか、具体的に)	当地区のまちづくり事業の前段となる各種の調査・検討を進め、まちづくりだよりを通して関係権利者に事業の予定や進捗状況を周知し協働のまちづくりを進めながら、実現可能なまちづくりの方向性について調整を行う。
	事業開始後の環境変化(人口推移等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)と対応	
	権利者の中には、まちづくり事業の早期実現化の声がある。また、未利用地でのマンション計画等の開発行為が増加して来ており、まちづくり計画に影響が生じてきている。	
	事業の具体的な内容及び方法	市施行の土地地区画整理事業を基本としたまちづくりの事業化検討を行うために、平成17年度に基本構想、平成18年度に現況・地区界測量、権利調査、パンフレット作成、平成19年度は事業計画(案)の作成並びにワークショップの実施に取り組んできた。平成20年度は、事業計画(案)の説明会並びに意向調査を行うなど、引き続き事業化の検討を進めて行く。
	H19	市施行の土地地区画整理事業(施行予定面積6.94ha)の事業化検討の一環として、事業計画(案)の作成、ワークショップを実施した。また、まちづくりだよりの発行により、関係権利者の理解を深めた。

③ 事業の推進状況	事業の進捗率(%)	総事業費(予)(千円)														
	<table border="1"> <tr> <th>～平成18年度</th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成23年度</th> <th>終了予定年度</th> </tr> <tr> <td>50.0</td> <td>60.0</td> <td>70.0</td> <td>80.0</td> <td>90.0</td> <td>95.0</td> <td>平成 24 年度</td> </tr> </table>	～平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度	50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	95.0	平成 24 年度	34,100
～平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度										
50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	95.0	平成 24 年度										
	解決すべき課題とその対応策	H19までの事業費累計(千円)														
	市施行の土地地区画整理事業を事業化する場合については、資金計画や施行期間が課題となるため、様々な角度から調査・検討を行う必要がある。	19,845														

④ 経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		11,651	6,374	700
	決算(見込み含む)		11,025	6,195	
	正規職員人件費	3.40 人	31,280	3.00 人	28,182
	公債費				
	事業費合計		42,305	34,377	
	財源内訳	一般財源	41,953	34,025	420
		国・県支出金	352	352	280
		受益者負担金			
		市債			
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		125.2	101.4	

⑤ 指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H 20	将来目標	
	成果分析	まちづくりだより	関係権利者数×発行回数	人・回	目標値	155×3	161×1	155×2
				実績	155×3	161×1	実績値の拡大を図る1	
				%	達成率	100.0	100.0	実績値の縮小を図る2
標	成果指標の設定理由及び目標値の考え方	まちづくりだよりを発行することにより、事業の予定や進捗状況等を関係権利者に周知するため、関係権利者数に発行回数に乗じたものを指標とする。目標値は、全ての関係権利者に送付することとする。なお、同一世帯の共有権利者への周知は、代表者権利者への送付をもって周知したもとする。						

⑥ 一次評価	評価項目	評価内容			
	妥当性	事業の優先度・緊急性	当地区は、商業地域にありながら都市としての基盤が未整備なままの密集住宅地であり、防災上危険な状態であることから、道路・公園等の基盤整備を行い、市の表玄関にふさわしい土地利用と良好な居住環境の形成を図ることが必要である。その前段として、まちづくり調整事業を進めるものである。		
	効率性	事業実施手法の効率化及びコスト削減の取り組み	必要な調査・検討項目を精査した後に、効率的な資料作成及び検討を行う。		
	効果・便益	事業に要する費用と効果(便益)の比較	事業に要する費用の大半は、調査・計画・測量の委託業務であるが、これらの成果等に基づき検討を行う。		
H 20	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画(案)全体説明会開催</li> <li>事業計画(案)個別説明会開催</li> <li>意向調査実施</li> </ul>		事業計画(案)の成果(設計図、平均減歩率等)について説明会を行い、また、協働のまちづくりを目指すために意向調査を行い、まちづくりの方向性を定める資料を作成する。		平成20年7月 平成20年8月 平成20年12月
	アクションプランに向けた準備を進めていく。		所沢駅周辺まちづくり推進室が実施予定の「所沢駅周辺まちづくり基本構想」と、市の方向性決定や日東地区内の権利者の意向等の調整を図る。		平成21年3月
評価	事業計画の見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し ⇒	理由	説明会や意向調査等で早期のまちづくりの要望が多いため。	
	事業実施方法の見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要有り ⇒ <input type="checkbox"/> 見直しの必要無し ⇒	理由	市施行の土地地区画整理事業を基本とするまちづくりでは、市の財政状況や施行期間などにより、早急なまちづくりが困難であると想定されるため。	
	総の事業必要費用見直し	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り⇒( <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 )		<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し	
	評価理由	当地区は、所沢駅西口に近接し中心市街地の重要な位置にあるが、現況は、老朽化した密集住宅地となっているため、今後も各種の調査・検討を続け、まちづくりの方向性を検討する必要がある。			
	評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	中心市街地整備課長 中留 吉人	

⑦ 二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	事前評価	部内優先順位… 12 位 非常に高い 高い やや低い 低い 優先度 <input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価	評価理由	都市計画道路の予定地を含む区域でもあり、市が関与することはやむをえないことから「引き続き実施」と評価した。
	評価日	9月1日

⑧ 外部評価	《外部評価の実施》	H19 <input type="checkbox"/> H20 <input type="checkbox"/>	※本事業は外部評価の対象になっていません。
	評価対応		

⑨ 環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード				
施策体系	施策の方向					